

あなたと共にあゆむ



いまへの

議会だより

No. **137**

2003年11月13日発行

[9月定例会]



今別小学校学習発表会「ザリガニも友だち！」

◇決算を認定 14年度総額50億8千万円	2～3
◇一般質問「ガラスハウスの有効利用を」他(4名)	4～9
◇先進地を視察	9
◇第343回臨時会・議会のうごき他 議会 <u>のうごき</u> ・ざんじきゅうけい	10

決算を認定

14年度総額は50億8千万円

議員定数10名に削減

平成15年度の9月定例会を9月5日から11日までの7日間の会期で開きました。今定例会に提案された議案は、平成14年度各会計決算の認定7件、平成15年度一般会計補正の専決2件、条例関係では、今別町個人情報保護条例の制定ほか4件、平成15年度各会計補正予算6件。

また、議員提出議案は今別町議会委員条例の一部を改正する条例及び今別町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の2件。

請願書として、私学助成拡充を求める請願書、「私学助成拡充の意見書」採択を要請する誓願書等いづれも原案どおり認定及び可決、採択しました。

一般会計

30億5千万円

国保・事業

4億5千万円

国保・診療

2億3千万円

老人保健

6億1千万円

介護保険

2億6千万円

介護サービス

3億8千万円

水道事業

1億円

9月定例会は、決算議会とも言われ、平成14年度の各会計決算を中心に審議し、意見を付して認定しました。

一般会計決算は、歳入30億5,091万円で、前年と比べ6.45%2億1,043万円の減と

一方歳出も30億2,100万円で6.5%2億8,611万円の減となりました。

水道会計を除く特別会計では、5会計歳入総額19億4,583万円、歳出19億5,363万円で780万円の赤字となりました。

水道事業会計は、収益的収支で13年度と比較して101.4%151万円の増収となりました。

資本的収支では、今別上水道流量計取替工事等で4,109万円の資金不足となり当年度は1,875万円の純損失となりました。

議員定数を

10名に削減

●今定例会において、議員定数を現在の14名から10名に削減する条例改正案を可決した。発議提出者から「経費削減と簡素合理化が必要な町情勢を考えると議員定数の削減は不可避」と提案理由を説明、これに対し、議員定数を12名にする修正案が提出されたが否決され、再度定数を10名にする条例改正案が審議され賛成多数で可決された。この条例は平成16年3月30日任期満了に伴う町議会議員選挙から適用となる。

第343回臨時会

7月11日、第343回臨時議会が招集され3件の議案と議員提出議案1件について原案どおり可決しました。

●水道事業会計補正（専決）

収益的収入及び支出に269万円を増額し、予算総額を1億2,376万4千円とした。消費税の納付期限が6月30日となることから専決処分とした。

●一般会計補正

歳入歳出にそれぞれ7,285万5千円を増額し予算総額28億6,578万6千円とした。歳出として青森県知事選挙に係る経費を調整、土木費では、国道280号線、青森銀行今別支店前から町道後町線をつなぐ道路新設のため、改良費として7,092万9千円、歳入として、原燃サイクル特別対策事業交付金として5千万円、前年度繰越金900万円、道路整備事業債1,360万円を増額。

●水道事業会計補正

上水道事業公営企業債1,700万円を低利に借り替えるためのもの。

●議員提出議案

道路整備の促進に関する意見書は原案通り採択されました。

- 7月 3日 議員全員協議会
- 3日 議会運営委員会
- 4日 今別・三厩両町村議会議員交流会
- 11日 臨時議会
- 14日、17日 議員先進地視察研修（山形県・秋田県）
- 16日 岩手県新里村議会来町
- 17日 県下町村議会議員研修会
- 24日、26日 三郡（東郡・下北・渡島）議会連絡協議会視察研修及び総会
- 8月 4日 議会広報委員会
- 14日 市町村合併特別委員会
- 18日 町成人式
- 18日 市町村合併説明会（県市町村振興課）
- 19日 議員全員協議会
- 19日 県知事を囲む行政懇談会
- 21日 町戦没者追悼式
- 22日 県議長会臨時総会



▲ 今別・三厩両町村議会議員の 町村合併に関する勉強会

議会のうらぐさ

15年7/1～15年9/30

- 7月 3日 議員全員協議会
- 3日 議会運営委員会
- 4日 今別・三厩両町村議会議員交流会
- 11日 臨時議会
- 14日、17日 議員先進地視察研修（山形県・秋田県）
- 16日 岩手県新里村議会来町
- 17日 県下町村議会議員研修会
- 24日、26日 三郡（東郡・下北・渡島）議会連絡協議会視察研修及び総会
- 8月 4日 議会広報委員会
- 14日 市町村合併特別委員会
- 18日 町成人式
- 18日 市町村合併説明会（県市町村振興課）
- 19日 議員全員協議会
- 19日 県知事を囲む行政懇談会
- 21日 町戦没者追悼式
- 22日 県議長会臨時総会
- 7月 3日 三厩漁港海岸環境整備事業竣工式
- 27日 今別・三厩両議員町村合併に関する勉強会
- 29日 総務・文教常任委員会
- 9月 5日、11日 第344回定例会
- 10日 議会運営委員会
- 12日 町敬老会
- 30日 水稲現地調査

▼ 議会は召集日から閉会宣言までが正式に活動できる期間。議員は法的には会期を中心とした公的な期間だけ活動することが義務づけられ、その他の日は任意とされている。しかし住民は議員が三六五日活動するのは当然と思っている。法は議員に対し会期中だけ活動することを求めているのに対し、住民は閉会中まで同じような活動を求めている。法と現実つまり住民感覚とにズレがある。

▼ 来年3月には、議会議員選挙である。議員定数も14名から10名に削減されるの初めての選挙。議員各位の健闘を祈る！

▼ 議会広報137号をお届けします。ご愛読ください。なお、誤字脱字などありましたらお許し願います。



基盤整備促進事業

ドロ沢1号工事について

質 問
ドロ沢1号工事は完成後6ヶ月足らずで水があふれ、路肩が崩壊し水路の底が見える状況であります。これは設計上の計算違いか施工上のミスではないのか。早急なる補修、手直しが必要と思うが計画

はどのようなになっているのか伺います。

建設課 長 答 弁

ご指摘の水路については、嵩上げ、取り入れ口への簡易ゲートの設置、方線の見直しを十分考慮し対処して参りますのでご理解願います。

今別町の牛舎使用等について

質 問
今別牛は大変評判もよかったわけですが、狂牛病問題等で畜産農家を取り巻く状況が大変なときもあつたわけですか。

農林水産 課 長 答 弁

畜産の現状ですが畜産農家数は17戸です。飼育の頭数は毎月変動しますが平成15年2月1日現在で成牛は147頭、育成牛7頭、子牛5頭、肉専用牛110頭、合わせて269頭と把握しています。

そこで、お尋ねしたいのは、現在の今別の牛はどうか、牛舎はどうなっているのかという事です。詳しい説明を求めます。

牛舎の使用については和牛組合等の方々と相談していきたいと考えています。

先進地を視察

(山形県金山町・鮭川村)

町議会では、平成15年7月14日(17日まで)、山形県金山町と鮭川村の2町村を農業研修しました。

●転作で伸びる夏秋きゅうりと にら(金山町)

最上郡金山町は、山形県北部に位置し、人口7,300人議員数16人、水田を中心とした農林業の町である。

夏秋きゅうりは昭和52年より始まり、最上郡広域の指定産地である。昭和63年より大型選果機による



▲ 金山町のにら栽培



▲ 鮭川村の花づくり

共同選果を行い、成果を上げている。

にらは、水田転作地を中心に面積が拡大し、100戸で10haの生産規模で県内一の出荷量となっている。野菜の生産は金山町野菜研究会を中心に、生産額をゼロから飛躍的に拡大した。にら、きゅうりとともに新技術導入に積極的で、最上郡のリーダー的存在になっている。

●クリーン堆肥を花づくりに供給 (鮭川村)



▲ 鮭川村の堆肥製造の説明を聞く

・鮭川村は、県の北部に位置し、人口5,800人、議員数16人、積雪2、3mの豪雪地域である。昭和60年に農協が堆肥製造施設、機械を導入、地域内からである農業廃棄物の家畜ふん尿や糞がら並びに菌茸農家の廃オガ等を利用して堆肥を生産している。年間の生産量は約1,000t、山間地の花き団地と転作地の夏秋きゅうりに利用されている。

・堆肥製造については発酵工程の機械化によって発酵を促進し、従来の堆肥のイメージとは異なって、無臭に近いサラサラとしたクリーンな完熟堆肥をつくっている。この堆肥は、腐熱度判定基準に示されている色、形状、無臭製、水分等に高品質と評価されている。

平山 順一 議員

診療所の患者への対応について

質問

今別診療所の職員は、一丸となりつねに親切と明るさをモットーに住民と接しているものと理解しておりますが、一日100人近くの患者と接していることを考えれば、一人一人に納得できるような話しをする時間も不足している

今別診療所の職

員は、一丸となりつねに親切と明るさをモットーに住民と接しているものと理解しておりますが、一日100人近くの患者と接していることを考えれば、一人一人に納得できるような話しをする時間も不足している

長弁
町答

今別診療所につきましては、常日ごろから全職員が患者中心に接する職場づくりに努めるよう指導しているところですが、今後とも、患者の利便等を図り満足されるよう対応に努めてまいりたいと思っておりますので、ご理解をいただきますと思います。

質問

わが町でも農作物冷害対策本部が設置され稲作状況を視察したところであるが、農業・農家の救済にどのような対応をするのかお伺いします。

長弁
町答

今別町農作物冷害対策本部を設置し、現地調査をしながら今後の対応について協議、検討しているところであり、関係機関との連携のもと、登熟状況や被害状況に応じた適切な技術指導を行うなど、被災農家の支援に努めて参りたいと思っております。

不登校生徒への対策を

質問

町内には学校へ登校するより欠席する日数の多い生徒がいるように聞いております。小学校、中学校は義務教育であり基礎教育を学び社会へ出て行くための大切なものです。善悪の判断のできる立派な青少年となるための教

長弁
教育
町答

育が必要であり、不登校の生徒への最善策を講ずるよう教育委員会のご指導に期待します。生徒の不登校解消については、教育委員会、学校、関係機関との連携のもとに鋭意努力しているところであります。

長弁
町答

学校においては指導主事・カウンセラーによる全教員の研修、不登校対策委員会の設置、心の教育相談員の活用、家庭訪問等により不登校解消の対策を講じているところであります。



▲ 議会議員による水稲現地調査

農作物冷害対策本部の対応は

り入れながら整備充実を図っていきたいと考えている。

これから各地区への説

海岸線の整備計画は

質問

青森から平舘までの海岸線及びその後背地の整備は、

国土庁直轄で整備されほぼ完成の状態でありますが、外が浜海岸では今別地区の海岸線とその後背地の整備が1番遅れています。整備計画はどのようになっているのか、県との協議はどうなっているのか伺います。

長井 町答

ご指摘のとおり今別町の海岸整備事業はかなり遅れており、10月開催予定の地方行政連絡協議会においても県に強く要望していく考えです。

平成14年度に津軽沿岸海岸保全基本計画が策定され、それにより奥平部海岸から今別漁港海岸まで海岸保全施設の整備区域として計画されており、整備されるものと思

明会を開催し住民の理解を得ながら進めていきたい。

われますのでご理解願います。



▶村元海岸の整備工事

地域おこし事業の推進を

質問

特産物の開発対策を含め地域おこし事業が予算化されているが、古いものが切り捨てられることにはならないか。現在の取り組みの状況、今後の計画・展望について伺います。

また、「今別町の荒馬」が青森県の無形民俗文化

財の指定を受けたが、地域おこし事業との関係をどのように考えているか答弁を求めます。

長井 町答

農協・漁協・商工団体等で組織されている「黎明懇話会」を主体とし今別町特産物の商品化、販路拡大、販売と商品化のノウ

町村合併について

質問

町村合併についての県の説明会で上磯5町村が合併した場合の「合併財政シミュレーション」が示されたが、希望的数字であるとの見解でありました。

将来のことは分からな

ているのか伺います。

また、町長は自らの冊子で最終的には青森市との合併を考えると、東青一本化の合併の先頭に立っている様子も伺え、

さらには、「地域自治組織」を設置できる制度を

ハウ等について勉強会を開催し、視察等を行っているところ。今すぐできるものは何か、新しく取り組むものは何かあるかを検討し事業の展開をしております。

「今別町の荒馬」が県の無形民俗文化財の指定を受けたことは、今まで伝

長井 町答

町村合併については、三厩村との合併について村長・助役ともいろいろな課題について話をするとかなり進めております。ご指摘のありました

また、地域自治組織構

承に努めてこられた諸先輩の方のご苦勞と各保存会の皆様から感謝を申し上げます。今別町の伝統芸能を大切にし、後世に伝えていかなければならないと考えており、町観光協会や各保存会と協力し事業の推進に努めてまいりたいと考えています。

想がどのようになっていくのか難しい問題があり、町村合併して10年後にはどうなるのかと考えると楽観はできません。そのようなことから、将来的には青森市との合併も検討しなければならぬのではないかとというのが私の考えです。しかし、現時点では三厩村との合併についていろいろ議論し、調査研究してまいりますのでご理解願います。

危険道路整備の早期実現を

質 問

国道280号線危険道路の整備促進については国・県に陳情していることと思いますが、早期実現のためにはまだまだ陳情不足ではないのか。

長 井 町 答

か、再利用計画がなかったものか伺います。ご指摘の国道280号の整備については、機会あるごとに国・県に要望しております。今後とも予算獲得のために積極的に要望して参りたいと考えています。

建設課 長 答 井

のでご理解願います。海岸ブロックの再利用については、プロックを調査し使えるものは離岸堤に使用し、壊れているものは砕いて緩傾斜護岸の裏込材として利用します。

廃校を 利用した 地域産業を

質 問

地域住民の所得向上と雇用の場の確保の面から、統合し廃校となった校舎を利用した地域産業づくりを考えたかどうか。

長 井 町 答

空き校舎については解体するにも多額の費用を要することから、利用方法についていろいろ検討し情報を集めているところで



▲ 今年度で閉校となる大川平小学校学習発表会（全校合唱）

観光を利用した地域づくりを

質 問

わが町は景観がすぐれた自然が豊富にあります。町の産業が低迷しているいま、その自然を利用した観光整備をし町を活性化させたらどうか。

佐藤 豪 議員

長 井 町 答

型遊覧船や浅瀬海岸には水族館の整備、冬には荒れ狂う海峡の冬景色ツアーなど滞在型観光整備をすることで魅力ある町づくりができ、若者の雇用の場の確保につながると思うが、町長の考えはどうか。

これまで海峡の家の整備や高野崎園地の遊歩道の整備など、財政の厳しい中にも観光地整備に取り組んできたところであります。ご提言いただいたことを観光事業推進の参考に供していきたいと考えています。

リサイクル事業の拡大強化を

質 問

新聞紙・段ボール類は燃えるゴミとして出しているが、実は立派な資源ゴミです。焼却費のかかる燃えるゴミではなく資源ゴミに分別すべきではないか。また、資源ゴミ収集だけでも無料化にして事業の一層の円滑な拡大を図るべきではないかと思

長 井 町 答

います。資源ゴミ収集の無料化をというところですが、町の財

政が厳しいこともあり応分の負担をいただくことにご理解願います。紙類を資源ゴミとして収集することについては

合併浄化槽設置計画を示せ

質 問

県内の下水道・合併浄化槽の普及状況をみると今別町は1番遅れをとっているのではないか。景気刺激にもつながる合併浄化槽設置計画は重

長 井 町 答

要な事業であり具体的な計画を示していただきたい。合併浄化槽への県補助金も削減の対象となっており、町単独の補助金制度も取

宮本 清七 議員

町長の公約に対する町民の期待

質 問

町長は今別には海・山・農地という3つの財産があるが、荒れ放題になっておりそれらを整備し、住民の職場の確保と所得向上を図りたいと訴えていた。町民はその公約に期待しているところである。それぞれの産業の後継者

不足の解消には、魅力ある町づくりが必要であると思うが町長の所感を伺いたい。

長 弁
町 答

「個性豊かな充実した人生を送れる社会の実現をめざす」をスローガンに町政を担うこととなったが、今別町の財政は危機的状

況にあり、就任後の初仕事で財政の建て直しと残念に思っている。

選挙中に訴えた公約については、初心を忘れず財政事情を考慮しながら確実に進める所存であります。

質 問

議会議員による先進地視察として、山形県金山町と鮭川村を訪れ農業への取り組みを研修してきたところであります。金山町は観光資源を農業に利用し生産販売技術が進んでいると実感しました。鮭川村は加工・販売まで観光協会の指導のもとに行われている感じ

を受けました。

両町村とも自然を生かした産業に取り組み住民の所得向上に努力されているものであり、当町も町づくりに大いに参考にすべきと思うが、町長の所感を伺います。

長 弁
町 答

視察された町村はそれぞれ特色ある取り組みをされ、実績をのこしている地域

かと思っています。産業おこしと言ってもみな地域の条件が違うわけであり、それぞれの団体や関係機関と連携してものづくりのための研究・指導に努めたいと考えております。

議員や関係者の皆さんのご意見・ご提案は大いに参考にし町づくりに当っていきたいと考えております。

採る漁業・育てる漁業の指導を

質 問

育てる漁業の種類としてはホタテ・ウニ・ナマコ・ホヤ・コンブ・モズクなどが考えられる。ホタテの育成の場合は環境づくりと漁民一体となった取り組み・採取が必要と思われれます。また、かつてはコンブで一家の生計維持ができたことから、豊かな漁場を取り戻すこと

が大事だと考える。

自分本位のその場限りの漁業ではなく、行政が協力し子孫に残せる漁業の育成を図る必要があると考えるが、町長の考えを求めます。

長 弁
町 答

水産資源の減少と魚価の低迷により漁業者にとって大変厳しい状況であることは認識しております。

そこで町では作り育てる漁業として国の漁場整備事業を導入し、平成13年度から西部海域でモズク

漁場整備事業、東部海域及び今別全域でヤリイカの産卵礁を整備しているところであります。

関係機関と一体となり漁家所得の向上に努めているところですのでご理解願います。

質 問

身体障害者スポーツ大会に初めて参加して感じたことは、障害を持った人が1人で悩んでいるより、大衆の場に出てお互いに体験を話し合ったり、健康について考えることができ有意義な大会であると思えました。

障害者の相談は社会福祉協議会が窓口となっているようだが、町の協力体制はどのようになっているのか。さらに障害者用のトイレの設置状況についてお尋ねします。

福祉課長答弁

障害者は町全体で292人です。重複障害の方が5人いるので実質287人です。障害者用トイレの設置箇所については公衆用ト

イレとしては6箇所あります。

施設に設備されているのは「開発センター」、「荒馬の里活性化センター」、「体験交流センター」、「道の駅アスクル」の4施設となっております。

今後とも、障害者福祉をはじめとした福祉全般について、社会福祉協議会と連携しながら取り組んで参りたいと考えています。

視察町村の取り組みを

町づくりの参考に

議員提出 議案

●今別町議会委員会条例の一部改正

課名等の変更により、常任委員会の所管する課名を変更し、産業建設常任委員会から商工観光課を削除するためのもの。

●今別町議会議員の定数を定める条例の一部改正

今別町議会議員の定数は、現在の14名から10名に削減された。

請願書

●「私学助成拡充」を求める請願書

●「私学助成拡充の意見書」採択を要請する請願書

以上の2件の請願書は採択されたことにより、議会では関係機関への意見書を送付いたしました。

町政を問う

一般質問

小鹿 勉 議員

ガラスハウスの有効利用を

質問

花きのガラスハウスは、今別町に居住する住民で花

きを栽培する2人以上の集団が利用できる」と条例で規定されているが、野菜も栽培できるよう条例を改正し有効利用させてはどうか。

また、使用料の根拠についての説明を求めます。

長弁 町答

花き生産団体と利用団体の実情を勘案し、普及センターの指導を受けながら有効活用するよう指導に当たりたい。

農林水産課長答弁
使用料の根拠については、施設建設当時の土地賃借料が基になっています。

質問

町が土地の持ち主から借りて建設したため、それに相当する額を利用者負担としています。

農業用水路整備計画を示せ

質問

大川平農業用水路は途中の水路がなくなっている状況であり、末端の田んぼには水が全く来ない場所もある。今後の整備計画を示していただきたい。

農林水産課長答弁

農業用水路については、現在、国のかんがい排水事業で整備を進めています。大開地区が平成11年度か

ら15年度、母沢地区が平成13年度から16年度、ド口沢地区が平成14年度から15年度まで、それぞれの年次計画で整備中であります。

新規着工事業については、補助枠の関係で平成18年度以降になると思われますので、ご理解願います。

新規着工事業については、補助枠の関係で平成18年度以降になると思われますので、ご理解願います。



▲ ガラスハウスで栽培されている「菊」

9月の定例会では、4人の議員が当面する町の重要課題について町執行部の考えをたどりました。その主な内容を要約してお知らせします。

平成14年度実質収支に関する調書

(単位：千円)

区分	会計別	一般会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	国民健康保険特別会計(診療施設勘定)	老人保健特別会計	介護保険特別会計(保険事業勘定)	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)
		金額	金額	金額	金額	金額	金額
歳入	総額	3,050,914	458,880	230,178	615,764	260,404	380,609
歳出	総額	3,000,213	443,541	291,726	599,107	247,273	371,992
歳入	歳出差引額	50,701	15,339	△61,548	16,657	13,131	8,617
翌年度へ繰り越すべき財源	繰越明許費額	3,173					
実質	収支額	47,528	15,339	△61,548	16,657	13,131	8,617
基金	繰入額	24,000	7,700			6,600	

予算関係

●一般会計補正

歳入歳出にそれぞれ1,700万3千円を増額し、予算総額28億8,46万4千円とした。

歳入の主なものは、町税の確定により、個人町民税の現年課税分75万7千円の減額、固定資産税については評価替えによる賦課額の減少で292万4千円を減額、国庫補助金・県支出金では知的障害者施設等負担金として410万4千円、前年度繰越金として、1,052万8千円を計上し、町債については臨時財政対策債450万円減額した。

歳出では、知的障害者支援事業として、扶助費に547万3千円、道路台帳測量業務委託料127万円、西田地区J用地購入費120万円、町営住宅ベランダ手摺改修工事費419万1千円を補正計上した。

●国民健康保険特別会計(事業勘定)補正

歳入歳出にそれぞれ2,815万円増額し、予算総額4億9,374万4千円とした。

歳入の主なものは、15年度国保税賦課の確定による減額分695万7千円、療養給付費負担金1,463万2千円、財政調整基金繰入金770万円、前年度繰越金763万8千円

●国民健康保険特別会計(診療施設勘定)補正

歳入歳出にそれぞれ6,154万8千円を増額し、予算総額2億7,866万4千円とした。

歳入では、歳入欠かん補填収入6,154万8千円

●介護保険特別会計(保険事業勘定)補正

歳入歳出にそれぞれ568万8千円を増額し、予算総額2億9,948万9千円とした。

歳入では、前年度繰越金651万9千円

●介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正

歳入歳出にそれぞれ2,815万円増額し、予算総額4億9,374万4千円とした。

正

歳入歳出にそれぞれ61万8千円を増額し、予算総額3億8,096万5千円とした。

歳入では、前年度繰越金61万8千円

●水道事業会計補正

収益的収入支出では、企業債利息44万7千円、資本的収入では一般会計負担金40万円、支出では消火栓工事費40万円

●平成15年度老人保健特別会計補正(専決)

歳入歳出にそれぞれ167万5千円を増額し、予算総額28億6,746万1千円とした。

条例関係

●今別町個人情報保護条例の制定

町が保有している公文書の公開を求める権利を住民に保証するとともに個人の情報を保護して、町民参加による一層開かれた町政を実現するためのもの

●今別町情報公開条例の一部改正

今別町情報公開条例施行規則の制定に伴う一部改正

●今別町消防団条例の一部改正

現在の消防団員数の実態を踏まえ、定数を235名と改正するためのもの

その他の決

●平成15年度一般会計補正予算(専決)

歳入歳出にそれぞれ167万5千円を増額し、予算総額28億6,746万1千円とした。

●平成15年度老人保健特別会計補正(専決)

歳入歳出にそれぞれ167万5千円を増額し、予算総額28億6,746万1千円とした。

●青森県市町村職員退職手当等組合規約の一部を変更する規約

市町村合併に伴う組合の加入脱退の事務手続きを整備するためのもの

●青森県市町村職員退職手当等組合規約の一部を変更する規約

市町村合併に伴う組合の加入脱退の事務手続きを整備するためのもの

●青森県市町村職員退職手当等組合規約の一部を変更する規約

市町村合併に伴う組合の加入脱退の事務手続きを整備するためのもの